

- 

の塔頭跡に建立されたと伝えられていた。一九八四年、当地に区画整理事業が計画され、それに先立ち大阪府教育委員会が約八〇〇㎡の発掘調査を実施した。その結果、鎌倉時代から室町時代に至る溝・柱穴・土壇墓等が発見された。遺物は、一三世紀から一五世紀後半

(1) 无阿弥陀佛

梵字 梵字 年

(320) × (47) × 3 061

表は「南無阿弥陀仏」の「南」が欠損している。裏は年号と共に戒名が記され、「尼」から女性と思われる。卒塔婆と考えられるが、末字より下端までが短かく、地中に埋め込まれたものではない。



(福田英人)

